

大問	小問	解答 番号	正解	配点	解説
<div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>50 点</div> </div>	(一)	⑩	家庭	2	
		⑪	年齢	2	
		⑫	当然	2	
		⑬	迷惑	2	
		⑭	過言	2	
	(二)	⑮	①	4	A には前の事柄に続いて次の事柄がおこることを示す「すると」が、C には逆説を示す「だが」が入る。結果、①が正解になる。
	(三)	⑯	㊥	2	後に「美しい」とあるので、それに対応する「優雅」が最も適当である。
	(四)	⑰	①	2	論文に関する文章であるが、[9]では「何でも自由に自分の好きなことを書いてみよ、というのが論文」とあるので、「テーマ」が最も適当である。
	(五)	⑱	㊥	4	[2]はまだ関連する議論が展開されていない。[10]、[15]、[25]の場合、前にある文章の内容とそぐわない。[23]は前に「グライダー人間の方が重宝である」などの内容が書かれているので、この段落の末尾に入る。
	(六)	⑲	右記	8	解答例 「受動的に知識を得るのがグライダー能力で、自発的に物事を考えるのが飛行機能力だが、学校教育では前者の養成のみ重視しているということ。」(65 字) 採点基準 [16]の内容を踏まえたグライダー能力と飛行機能力の説明（各 3 点）。学校では前者の養成のみ重視しているという指摘（2 点）。
	(七)	⑳	㊷	4	続く文章に「言われた通りのことをするのは得意だが」、「自力飛行の力を失ってしまうのかもしれない」などとあるので、㊷が最も適当である。
	(八)	㉑	㊿	4	[21]と [22]の記述から、知識の成果という「花」にだけ注目し、その成果をもたらす「根」に思いを巡らす姿勢が乏しかったとする㊿が最も適当である。
	(九)	㉒	①	4	①で示されている「飛行機能力の養成を行うよう

					になったことへの変化」については述べられていない。
	(十)	㊹	㊺	4	㊴「たとえや事例は交えずに、事実のみを淡々と述べている」、㊵「体言止めや擬態語を頻繁に用いる」、㊶「疑問文を多用」、㊷「他人の文章を引用」という記述は、説明として適当ではない。
	(十一)	㊻	㊼	4	16や25から、グライダー能力の養成まで否定しているのではない。